

令和7年11月16日執行

曾於市議会議員選挙公報

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真にとり印刷したものです。)

もっと元気な曾於市に！

畜産獣医学拠点 SKLV の推進

SKLV と地元畜産業との連携

農業の支援

有機農業の推進・鳥獣被害対策・農道整備

子育て支援

放課後児童クラブ、地元高校への支援

住みやすい街づくり

宅地分譲の推進・市道整備・排水対策
・集落水道の強化



いぢち厚仁
あつひと

曾於市の未来へ 若い力でチャレンジします！

安心した子育ての充実

充実した子育てで制度を生かしてこれからも子どもたちがのびのび育つ施設や環境づくりを提案します。

財部に宅地分譲の推進

働くところは都城でも、住んでもらう場所は曾於市あるいは財部町へと積極的に進めます。

曾於市の特産を活かした町づくり

曾於市は畜産を含めた農業の町です。
ジビエなどをはじめとする曾於市の特色を生かした商品で、ふるさと納税を推進します。



ひろせ
たかゆき
孝幸
40歳

女性 子育て世代の声を！ 〈これから取組みたいこと〉

子育て支援は当事者目線で

- ◎働くママ・パパに寄り添う制度を充実
- ◎「孤育て」にならない仕組みづくり
- ◎子ども福祉を届きやすく
- ◎小児科不足の早期解消
- ◎こども園・学校・地域が連携して子どもを守るまちづくり

誰にとっても安心・安全なまちに

- ◎多様性に合わせた防災
- ◎危険箇所の改善
- ◎高齢者や障がい者にも優しい移動手段
- ◎買い物物がしやすいまち

多様な意見を議会に

- ◎女性や子育て真っ最中の声、子ども自身の声をもっと反映
- ◎開かれた議会運営を推進

食と農をつなぎ“稼げるまち”へ

- ◎地産地消とオーガニック推進
- ◎農業と消費者をつなぐ仕組みづくり
- ◎人手不足を解消する取組 (DX化)

環境問題は日々の暮らしから

- ◎ごみ削減と再エネ推進
- ◎子どもたちへ持続可能な自然を引き継ぐ



せとぐち
せいぐち

さくらい 「櫻井むつおの思い」 町を元気にしたい！！

さくらい 櫻井むつおの提言①

中山間産地の農業活性化と農地基盤整備

老朽化した農道や農地を改修・改善し、農作業の効率化と安全性を高めます。また、ため池や用水路の改修・整備を進め、水資源を安定的に供給し、生産性の向上を図ります。中間産地特有の労働力不足や高齢化にスマート農業を推進します。



さくらい 櫻井むつおの提言②

地域のコミュニケーションと高齢者支援

公民館や空き店舗などを活用し、高齢者や子育て世代が誰もが気軽に立ち寄れる「地域交流拠点」を各地区に設置します。地域住民、民生委員、警察、消防などが連携し、高齢者の安否確認や異変を早期に察知できるネットワークを構築します。



櫻井
むつお

くらしと福祉まもる市政を

税金・保険料の負担軽減を
高すぎる介護保険料が年金生活者を圧迫しています。一般会計からの繰り入れで値上げを抑えるよう要求します。

市独自の物価高騰支援策を
物価高騰で貧困と格差が広がっています。水道料金の値下げ、農家への肥料代補助、就学援助の拡大など力を尽くします。

老朽化施設の改修を急いで
公共施設の老朽化が目立ちます。改修、耐震化など災害対策としても急ぐべきです。市民プールの屋根の改修はいますぐに。

市民の願いを届け、市政の動きを報告します
この46年半、市民の声を市政に届け、議会だよりや街頭から、その結果を報告してきました。これからもみなさんと力を合わせ、いのちと暮らしを守るためにがんばります。



とくみね
けんじ
日本共産党
一成

曾於市・地域発展の為に 「健康の豊かさ」 「三つの豊かさ」 「心の豊かさ」 「経済の豊かさ」

「三つの豊かさ」を追求し、
誠心誠意頑張ってまいります。



いまづる治信

市民の声が曾於市を作る 市民ファースト

出水ゆうきは、
本気で目指します。

これからの3つの目標

- 1、住民生活の安定のカギは商業発展です。
- 2、曾於市の重点産業は農業です。
- 3、曾於市のスポーツ振興に必要なのは、多目的グラウンドと体育館の空調設備です。

お年寄りから子どもたちまで楽しめる環境づくりを目指します。



出水ゆうき
39歳

曾於市の未来をともに作る

農業・商工業の振興

- 地域の基幹産業である農業を守り、次世代につなぐ仕組みづくり
- 商工業の活性化を図り、地元で働ける環境づくり

地道に力強く、全力投球

子育て支援

- 保育や教育の充実、若い世代の定住支援

福祉の充実

- 高齢者や障害のある方が安心して暮らせるまちづくり

地域の活性化

- 地域行事や文化を大切にし、にぎわいのある地域づくり

市民の皆さんの声を大切に、身近な声を市政に届けます



しげまさ
しげあき
重久まさき

歴
■市議会副議長
■自民党大隅支部幹事長
■笠木原土地改良区理事長
■弥五郎どん保存会副会長
■そお水士里広域協定会長

令和 7 年11月16日執行

曾於市議会議員選挙公報

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真にとり印刷したものです。)

前回の公約です。達成率 30%。
まだまだこれからです！継続した取組を進めてまいります！

ひとりのため、みんなのため、 「真心」をこめて。

すずき栄一は、みなさんの声をお聞きし、その声を市政に反映させます！
すずき栄一は、自分の足で地域を歩き、実情に応じた支援策を考えます！
すずき栄一は、誠実に努力します！

〇人口増対策及び定住促進について

人の流れを創り出すことが定住促進への第一歩です！
人の流れを創り出すには、活気が必要です！地域のみなさんと語り合い、共に動き、地域にさらなる活気を起こしましょう！

〇高齢者の生きがいづくり及び子育て世代の支援策について

高齢者と子育て世代の支援は市勢発展のための両輪です！
高齢者には「生きがいとねざらい」を、
子育て世代には「安心して子育てできる環境と将来への希望」を持てる地域を創りましょう！

〇各校区・自治会支援策について

校区・自治会活動による人と人との繋がりを積み重ねていくことが、地域振興の要です！
地域の伝統・文化を継承しつつ、時流に合わせた支援策をみなさんといっしょに考えていきましょう！



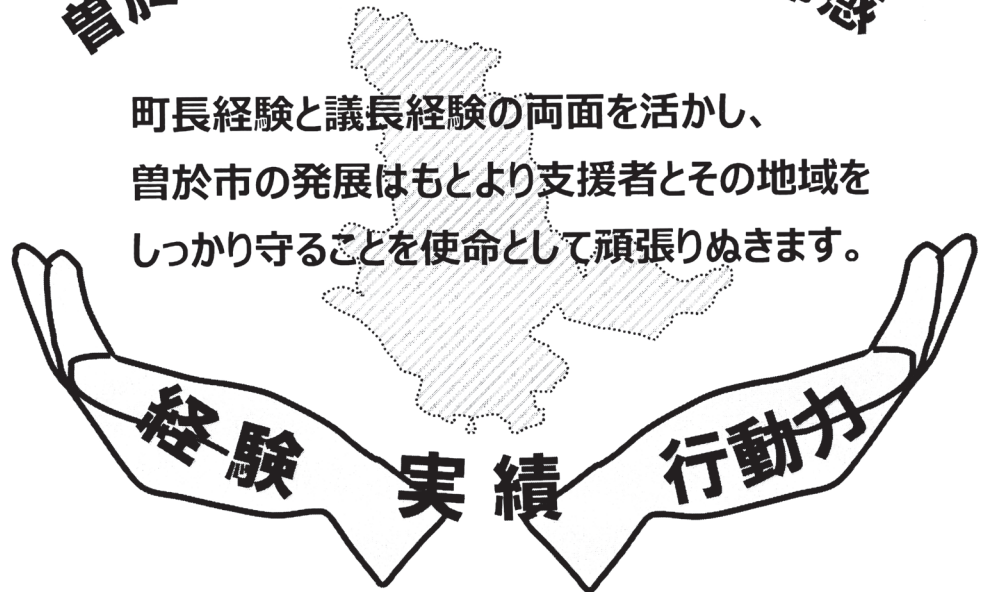
そおじゃっど！



すずき栄一
えいいち

曾於市へのおもいは常に使命感

町長経験と議長経験の両面を活かし、
曾於市の発展はもとより支援者とその地域を
しっかり守ることを使命として頑張りぬきます。



つちや健一
けんいち

やさしさと思いやりの心で 市民と市政の架け橋に !!



食を通じた
街おこし

ルーツは、地元の食。
アイデアと人脈で、曾於の「味(ち)力」を解き放つ！
飲食店経営、食に関する団体、商工会青年部活動で培ったアイデアとネットワークをフル活用！



“支え 痛れ”
の
ない
福祉

支え合う心も、支える。曾於をやさしさが循環する街へ。
ケアする側のケアを充実させることで、福祉環境全体をより良くします！



相談
しやすい
地域
コミュニティ

時代と共に、コミュニティも進化する。曾於の新しい繋がり。
既存のコミュニティの利点を活かしながら、若年層が活発に参画したくなる場づくりを考えます！



もっと
便利で安心な
交通手段

地域活性の鍵！曾於に安心の移動網を。
買物・通院などの利用、飲酒後の足、観光客などの需要を拾い上げ、官民一体で改善します！



地場産業
をささえる
インフラ整備

インフラ投資で、曾於の産業を未来へ伸ばす。
基幹産業である農畜林業の強みを生かすためのスマート化、インフラ整備の推進を続けます！



44 歳 新人
なかざき
和樹の

曾於に貢献 !!

父の遺志を受け継ぎ、より良い曾於市の未来へつなぐ為、汗をながし市政発展・市民のために貢献します。
誇りをもてる豊かな「曾於市」づくりに、皆さんと一丸となって頑張ります。

ご支援のほどよろしくお願いいたします。

地域貢献 奉仕の精神



さきもと
つとむ
迫まそうぶ

住んで良かったと思える街へ！ わたしは次のことに取り組んで参ります！

商工業 農林畜産業の振興

- ・地元で頑張る企業を様々な団体と連携して応援
- ・畜産業での新たなブランドの立ち上げや地域の特産品の開発



子育て支援と 教育の振興

- ・地元企業と連携した「子供の遊び場」作り
- ・曾於高校を曾於地区の高等教育の要となる学校にするための取り組み



活気ある 街づくり

- ・若者が将来に夢と希望を持てる街づくり
- ・絵画、音楽、芸能、祭りとの質の高い文化を誇る曾於市を内外にPR



医療・福祉の充実した 生きがいのもてる街づくり

- ・あらゆる世代が安心した医療や福祉サービスを受けられる環境作り
- ・地域コミュニティへの積極的な参加による世代間交流の更なる実現



とよや
せいじ
50才 新人
遠矢

あなたの笑顔が見たいから あなたの声を届けたい

心を豊かにするのが文化。暮らしを豊かにするのが政治の務め
再び皆さんのお役に立ちたい
松ノ下いずみは
再チャレンジいたします。



松ノ下
いずみ

- ・現役の農家だからできること『小農家(百姓)の育成で若者支援と地産地消の推進』
- ・公務の(農業委員2期、市議会議員1期)経験があるからできること『直ぐ動きます、働けます』

- ・高齢の母がいるから気づくこと『介護の辛さ、不安分かっているから真摯な対応出来ます』
- ・子、孫がいるから気づくこと『子育て経験済み、婆の知恵を活かせます』
- ・田舎に住んでいるから気づくこと『3町合併により山が荒れ、村が荒れ、周辺部の町も荒れゆく現状をなんとかしたい』

- ・68歳まだまだ頑張ります『農作業、ミニバレーボール、グランドゴルフで足腰を鍛えています』

◎ 消えた道路標示、修復不完全な穴ぼこ市道の解消を目指します

◎ 市の管理外の小規模水道組合の運営補助アップを目指します

◎ 女性の地位向上 ◎ 観光地の放置気味の遊歩道等の再整備

若い力で未来創造！

若い力で未来創造! 33歳

【山中まさとの3つの提案】

① お金が循環するまちづくりを

曾於市は令和 6 年に農業で 516 億円稼ぐ農業の街ですが、そのお金は都市等に多く落ちています。これでお金が市内で循環せず、隣町に流れるばかり。農業で稼ぎ、曾於市で消費をするように構造転換を！

② 多様な雇用の場の創出を

曾於市発展の鍵は「高速道路と街をうまく繋ぐこと」にあります。都城志布志道路が繋がった都市・志布志市は大きな発展に。曾於市も平塚 IC-末吉財部 IC、有明 IC-曾於弥五郎 IC とを結び、魅力的な雇用を生むような工業団地の整備を！

③ 若者への徹底した教育支援

教育への熱意は街の魅力に繋がります。大学、専門学校に進む子供たちが Uターンした場合、奨学金返済を免除する財政支援などを行い、「曾於市と言えば教育のまち」と言えるような取り組みを！

■ 平成4年7月23日生まれ
■ 早稲田大学教育学部卒業
■ 現在は不動産賃貸業とゆず農家
■ 総務常任委員長・議会運営委員会副委員長



やまなか
山中まさと

市民の為の市議会

“小さな声にも耳を傾ける”

災害対策 福祉向上 全力投球！

現状把握を精査し
将来の曾於市の在り方に
政策提言をして市政を
追求します。

無駄は税金に跳ね返ります。



わたなべ
渡辺としはる

令和 7 年11月16日執行

曾於市議会議員選挙公報

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真にとり印刷したものです。)

私が動きます！

みなさんの声を聞いて実行します

- ▶ 末吉・大隅・財部の強みを活かしたまちづくり
- ▶ 曾於高校と地域が一体となった地域活性化
- ▶ 限界集落の暮らし支援

「明るく楽しくワクワクできる曾於市」を
みんなで一緒に創っていきましょう！
私が、その一歩を動かします！



やがみ ひろゆき
矢上弘幸

「ふちあい昌昭」の 3つの目指すこと

心身の
健康と
福祉対策

地域の
経済と
活性化

地域の
代弁者

- 心身の健康と福祉対策に渾身の力を入れます。
- 経済面で市民が生活し易い環境づくりに頑張ります。
- 地域の代弁者として、皆様の声を市政へ届けます。

心身の健康な曾於市づくりを



ふちあい 昌昭
まさあき

伊集院まさみは、住み良い地域づくりのために、
地域の声を全力で届けてまいります。

①地域の宝『こどもファースト』守り育てていく環境づくり

- ◎柳迫子供見守隊…昨年「文部科学大臣賞」受賞しました。
- ◎若者定住対策として「定住促進対策事業」支援しています。
- ◎子育て支援の拡充対策に取り組みます。

②地域の農業力・林業力さらなる発展と担い手づくり

- ◎JA役職員40年並びに森林組合役員としての実践を
活かしてまいります。

③いつまでも元気で健康寿命を伸ばす社会づくり

④地元企業・産業を振興し活力ある地域づくり



いじゅういん
伊集院まさみ

「次世代のまちへ」
曾於市発展のための三本柱 44歳

一、過疎化対策
新しい発想で、魅力ある活力あ
るまちづくり。地域資源を活用
した農業・畜産。Eスポーツ・
公園の地域再生。

二、福祉の推進
介護の実践経験と地域福祉の知
識で安心できるまちづくり。

三、子どもの成長応援
生まれた時から大人になるまで
環境の充実を目指す。

行動力で、取り組んでまいります。



やくしやすひろ

子供たちや高齢者が安心してすごせる
町づくりの為に市へ提案していきます。

全力で!

■町づくりで活性化

にぎわいある商店街 子供たちや高齢者が楽しめる行事
市民が安心して暮らせるまち 地元企業の稼ぐ力の向上

■スポーツ活動の推進

スポーツを通じた曾於市の活性化
スポーツ少年団・中学・高校の部活動支援



あんど まさかつ
安藤正勝

■曾於市商工会理事
■末吉町商店街研究会会長
■曾於市スポーツ推進委員会
■末吉カヌークラブ 監督

11月16日(日)は 曾於市議会議員選挙 の投票日です。

○投票時間：午前7時～午後7時

○投票場所：投票所入場整理券（ハガキ）に記載されている
投票所でのみ投票できます。

期日前投票について

投票所名	期日前投票期間	投票時間
末吉本庁 財部支所 大隅支所	11月10日(月)～ 11月15日(土)	午前8時30分～ 午後8時